

ほっと



一人ひとりのHOTな（熱い）気持ち！
ほっとけない精神を大切に！
ホッとできる居場所づくりを！

登別市ボランティアセンター情報誌『ほっと』。登別のボランティアを元気にするため、毎回情報満載でお送りしています。

今回の表紙は7月20～21日の2日間にわたり開設した『地域型ボランティアセンター』の様子。たくさんの親子が出張子育てサロンに遊びに来てくれました。今後も市民の皆様身近なボランティアセンターを目指して取り組んでいきます！

CONTENTS

- P2 ●特集 地域型ボラセンを開設しました！
- P3 ●報告 ボランティア愛ランドに行ってきました！
- P3 ●ボランティアアドバイザーコラム にこにこ日記
- P4 ●◎団体活動室の利用について
- P4 ●お知らせ

社会福祉法人 登別市社会福祉協議会 登別市ボランティアセンター

〒059-0016 登別市片倉町 6-9-1 登別市総合福祉センターしんた 21 内

[TEL] 0143-88-2080 [FAX] 0143-88-4546 [E-mail] info@kizuna-shakyo.main.jp [HP] <http://kizuna-shakyo.main.jp/>

[相談時間] 平日 9:00～17:30 土日祝日・年末年始はお休みです。

この情報誌の発行は、赤い羽根共同募金の支援を受けています。

地域型ボラセン を開設しました！

登別市ボランティアセンターでは、市民の皆さんが様々なボランティア情報に触れる機会を身近に設けるため「地域型ボランティアセンター」を毎年開設しています。

今年度は2日間で延べ261名の方々にご来場頂きました！これをきっかけにボランティア活動への関心がよりいっそう広がっていくことを願っています。

★ 身近に楽しむボランティア 7月20日 in アーニス

「身近に楽しむボランティア」をテーマに、ボランティア団体によるボランティア体験ブースでは、「竹とんぼづくり体験」「シニア世代に優しいパソコン体験」「気軽にできる切手整理体験」「誰でも気軽に取り組める朗読体験」「簡単な手話体験」を行いました。

また、「登別ノルディックウォーキング愛好会」の皆さんによる、「ノルディックウォーキング体験」や「登別朗読ボランティアの会」の皆さんによる「朗読体験！声を出してみよう」「おはなしりぼん」による「紙芝居 皿屋敷のお菊」等のイベントも実施しました。



【協力団体等】登別市郷土資料館ボランティアグループSLG/パソコンボランティアプラザ登別/ボランティア花つなの会/登別ノルディックウォーキング愛好会/登別朗読ボランティアの会/おはなしりぼん/登別聴覚障がい者懇談会/登別市共同募金委員会/ボランティアアドバイザー/TEAMpocke

家族で楽しむボランティア 7月21日 in イオン登別店



「家族で楽しむボランティア」をテーマに、「おはなしクレヨン」による「ぞうのボタン」「ふれあい・子育てサロンと～ます」の皆さんによる来場者参加型イベント「おおきなかぶ」「おはなしりぼん」の皆さんによる「めっきらもつきらどおんどん」等の読み聞かせイベントを実施。

また、布の絵本の展示や出張子育てサロン・子育てサロン写真展等も実施し、会場はご家族連れの方の皆さんで賑わいました。



【協力団体等】おはなしクレヨン/おはなしりぼん/ふれあい子育てサロンどんぐり・コロコロ/ふれあい子育てサロンと～ます/ふれあい子育てサロンフレンド/布の絵本ボランティアの会/登別市共同募金委員会/ボランティアアドバイザー/TEAMpocke

報告！ ボランティア愛ランド北海道 in ゆうばり に行ってきました！



参加者の感想（※一部抜粋して掲載。）

分科会での先生の話聞き、学生はどこまでボランティアをしてよいか先生に質問してみると、先生からはボランティアの意義を持って行うことが重要と教えて頂きました。私はボランティア活動は生半可な気持ちではできないものだと思いますし、心にゆとりがないと出来ないものだと思います。私自身も自分のことでいっぱい状態ですが、社会にでる前に色々な経験をしたと思いボランティア活動を始めました。活動を通して私自身の考え方や普段の生活が少し変わってきました。まだまだ人として未熟ですが、これからの生き方やボランティアとしての自覚を見直すのにとても良い機会になりました。

第6分科会『大学生によるボランティア活動の実際と課題』参加
TEAMpocke 松本 智樹さん（室蘭工業大学）

全道のボランティア実践者やボランティアに関心を寄せる人々が一堂に集い、ボランティア活動における課題などについて研究協議および仲間づくりを行いボランティア活動の推進を図ることを目的に毎年開催されているボランティア愛ランド。今年は夕張市にて7月6～7日に開催され、登別からは青少年ボランティアTEAMpockeの4名が参加しました。

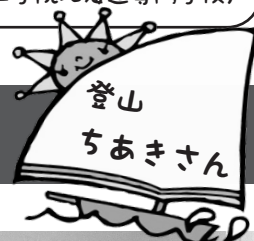
←夕張市長や他市町村の実践者の皆さんと楽しく交流！！
↓会場にはメロン熊も登場！ ↓分科会では講義に真剣！



若い人のほとんどが違う街に行き、高齢者のほとんどが夕張市に残るという話を聞いて、若い人にも夕張をもっと知ってもらうために、高齢者のお手伝いや若者向けのボランティアやイベントを行うことで、もっと若い人に夕張市の魅力や楽しさ等を知ってもらえる事ができ、夕張を訪れたいと思う人も増えると思いました。

第7分科会『大震災！財政破綻！お互いのマチが抱えた課題をボランティアの相互交流で補強及び支え合うシステムづくり』参加
TEAMpocke 田村 祐太さん（日本工学院北海道専門学校）

ボランティアアドバイザーコラム にこにこ日記 No18



TEAM pocke はボランティアのジャンルにとらわれず、仲間一人ひとりの『やってみたい！』をみんなで実現する場として平成22年に誕生しました。私自身学生時代に『同じ世代の仲間と想いを共有したい』『想いがあっても、なかなか一歩踏み出せない若い世代を応援したい！』という想いがあったからこそこうした活動をしているのだと思います。

私はこの活動の中で、コミュニケーションが苦手だった子が笑顔で話せるようになる様子や、研修を通してつながった仲間の活動に継続的に参加している子や、みんなの中心で話すことに自信のなかった子が自分の想いをみんなに伝えることができるようになった様子等、一人ひとりの日々の成長を間近で見ることができとても嬉しく思います。また、その中で私自身もメンバーと一緒に成長させて頂く貴重な場となりました。

まだまだ未熟な私たちですが、今後もたくさんの諸先輩や、地域の方との関わりを持たせて頂き、ボランティアを通してのびりべつがもっと元気になるひとつのチカラになればと思います。



青少年ボランティア TEAMpocke
活動日時/毎週木曜日 18:30～20:30
活動場所/しんた21 キットルーム
活動内容/ボランティア研修『ポッケ∞』の企画・運営、赤い羽根共同募金の街頭募金活動、各団体からお誘い頂いた活動へ参加・協力等を行っています。

登別市総合福祉センターでは、福祉活動やボランティア活動を支援するために、会議や学習会等に利用できる場所として「団体活動室」を提供しています。利用の際は次のことに留意してください。

- **団体活動室の利用日時について** / 登別市総合福祉センターの開館日に準じます。(月曜日及び祝日の翌日は休館日となっておりますが、事務所業務がある場合は利用できます。)
- **団体活動室を利用できる団体について** / 登別市障害者福祉団体連絡協議会加盟団体、登別市社会福祉協議会ボランティアセンター登録団体とします。
- **会議や学習会として利用するにあたって** / 団体活動室を利用する場合は、事前に予約が必要となっております。予約は3か月前から(当日空いている場合も利用可)利用できる状況であることを確認し、使用申請書を提出して下さい。また、利用日時に変更があった場合は、必ず総合福祉センターまで連絡してください。(次の場合は利用をお断りします。/ ボランティア活動や福祉活動に関連しない利用を目的とする場合。 営利を目的とし、会費や入場料を取る集会等の場合。 次の場合は、利用の中止を求めることがあります。 / 場所や備品を目的以外に利用する、またはそのおそれがあるとき 場所や備品に損害を与える、またはそのおそれがあるとき)
- **入室について** / センター管理担当に声をかけ、カギと利用報告書を受け取り入室する。
- **利用終了後について** / カギと利用報告書をセンター管理担当へ提出し確認を受けてください。利用後は、テーブル・イス等を必ず利用前の状態に戻してください。帰りの際は、忘れ物がないように必ず確認してください。あとで、忘れ物が見つからない場合もセンターでは責任を負えません。団体活動室を利用してゴミが発生した場合、センター内のごみ箱には捨てずに持ち帰り頂きますようご協力ください。また、その旨を会議等参加者にも周知してください。
- **その他** / 部屋の中は、旗・ビラ・ポスターその他の広告物の掲示は出来ません。(一団体の場所ではありません。)喫煙・火気の使用はできません。その他、センターの管理・運営上において必要な指示に従ってください。
当センターは公共の施設であり、不特定多数の方が利用されますので、マナーを守ってご利用頂きますようよろしくお願い申し上げます。



ボラセンに寄せられた研修会・講演会等の情報をお届けします。
スキルアップを目指して気になる事業に参加してみよう!!

傾聴に関する勉強会

北海道総合福祉研究センターでは、「傾聴」に関する勉強会を月に1度の割合で開催しています。この勉強会は、「傾聴」に関心を持っている人や「傾聴ボランティア」を行っている人たちのための勉強会です。

よりよいコミュニケーションを図っていくためには、どういったことが必要となるのか、より実践的なコミュニケーション技術を身につけて行くための基本的な勉強会してみませんか?

日時 8/26(月) 10:00 ~ 11:30
会場 しんた 21 団体活動室
講師 五十嵐 教行 氏
参加費 1,000 円
(他資料代として 100 ~ 200 円程度)
テーマ 『話しを聴く時の自分の特徴』
申込先 北海道総合福祉研究センター(担当:五十嵐さん)
☎ 011-868-8212 / FAX 011-868-8213

市民のための福祉・寺子屋事業

一般市民の皆様へ福祉の啓蒙及び学習の機会を提供することを目的に、北海道社会福祉士会日胆支部が年4回管内で実施している事業です。今回は登別・室蘭市民を対象に介護に対する想い・考えを下記講師に講演頂きます。

日時 8/18(日) 13:30 ~ 15:30 (13:00 開場)
会場 鉄南ふれあいセンター 3階 ホール
テーマ 『人を語らずして介護を語るな
~ 誰かの赤い花になるために ~』
講師 菊地 雅洋 氏
(特別養護老人ホーム緑風園 総合施設長)
参加費 無料
対象 一般市民の皆様
申込 不要(当日直接会場へお越し下さい。)
問合先 製鉄記念室蘭病院 医療福祉相談室
(担当:山下さん) ☎ 47-4337

ふれあいフェスティバル 2013 のぼりべつ
9月1日(日) 10:00 ~ 14:30

総合福祉センターしんた21にて開催!!

体験の広場コーナーで色々なボランティア体験ができるよ!
※詳しくは市広報8月号または登別市社協HPをチェック!

ほっと掲載情報募集中!
ボランティア体験もまだまだ受付中!
お気軽にご相談ください。

次回の情報誌発行は、12月1日
『ほっと第21号(全戸配布)』です!!

